

国際フォーラム

風景の美学 伝統と現代

主催 ■ 立命館大学国際言語文化研究所

■ 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B) (課題番号:22320031)
「認識と構築」の自然の風景像—21世紀の風景論」

2012.
2.17 **金** 10時00分
18時00分

■ 会場 ■
立命館大学 衣笠キャンパス
アート・リサーチセンター (ARC)
参加費・事前申込不要

09:30-10:00 受付

10:00-12:00 Session1 [報告]

風景の錯綜体としての「わたしの風景」

田村 剛 (立命館大学大学院社会学研究科)

第三風景——ジル・クレマンにおける風景と環境

山内 朋樹 (日本学術振興会特別研究員、
京都大学大学院人間・環境学研究科)

13:00-18:00 Session2 [報告、パネルディスカッション]

概念とイメージ

——中国の伝統的風景画から近代風景画までの歴史的再考

潘 禧 (佛光大学人文学院、台湾)

ロシアのコンテンポラリー・アートと風景の国家的コード

アダ・ラエフ (バンベルク大学、ドイツ)

美学と美: 自然と芸術におけるかたちと意味

ジャレ・エルツェン (中東工科大学、トルコ)

司会: 前田 茂 (京都精華大学)、仲間 裕子 (立命館大学)

※逐次通訳付

《パネリスト紹介》

潘 禧 (Prof. Dr. Fan Pan)

佛光大学人文学院芸術学研究所助教授、同大学アジア芸術研究所所長。神戸大学大学院修士課程修了、パリ第10大学博士前期課程修了、博士論文提出資格者(美術史、パリ第1大学)、博士(文学、大阪大学)。国立台湾師範大学美術学系、国立台北芸術大学兼任助教授。アジア藝術学会や台湾美学芸術学学会の理事、事務局長を務める。著書、翻訳に『イメージによる水墨画』、『バルビゾン派と写実主義絵画』、『セザンヌ書簡』他多数。

アダ・ラエフ (Prof. Dr. Ada Raev)

バンベルク大学スラヴ研究センター教授(スラヴ芸術文化史)。モスクワ大学で美術史を専攻、博士号取得。フンボルト大学(ベルリン)に教授資格論文「近代(1870-1930)のロシア女性芸術家たち: 歴史研究、芸術概念、女性性」を提出。国際美術史学会第33回大会(2012年)では「解釈学的問題としてのOriginalの概念」のセッション・チェアを務める。著書に『西洋近代の価値体系におけるロシア芸術』(2007)他多数。

ジャレ・エルツェン (Prof. Dr. Jale Nejdert Erzen)

中東工科大学名誉教授(アンカラ)。イスタンブール工科大学(建築史)でPh.D.取得。国際美学会の事務局長、副会長を歴任した。国内では、SANART(美学と視覚文化研究会)の代表。主な受賞歴は、文芸シュヴァリエ賞(フランス文化省、1992)、最優秀批評賞(イスタンブール芸術祭、2000)、第11回トルコ建築賞(トルコ建築家評議会、2008)。著書に『シナン、美学的分析』(アンカラ、1998)、『美学と批評の窮状』(リュブリャーナ、1998)他多数。

＜参考＞

■ 交通アクセス

http://www.ritsumeiji.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html

■ キャンパス・マップ

http://www.ritsumeiji.jp/campusmap/index_j.html#KINUGASA

■ ACCESS & CAMPUS MAP [EN]

http://www.ritsumeiji.ac.jp/eng/html/about/abo_08.html

◆ 立命館大学衣笠キャンパスへは市バスのご利用が便利です。

市バス 12・15・50・51・55・59系統 立命館大学前(正門すぐ)

市バス 101・102・204・205系統 わら天神前(正門迄徒歩10分)

京福電鉄(嵐電) 等持院駅(南門迄徒歩7分)

◆ ご昼食は・・・

学内各所の食堂等がご利用いただけます。



【お問合せ先】 「21世紀の風景論」研究会事務局(立命館大学国際言語文化研究所内)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL:075-465-8164 MAIL: lndscp21@st.ritsumeiji.ac.jp